

レポート+

## ボン・マルシェのPARIS!

松井孝予 2016年11月2日更新

ボン・マルシェで「パリの虜(とりこ)になるわよ」。パリ左岸の百貨店ル・ボン・マルシェで開催中の PARIS! 展。2年前に大ヒットを飛ばした「日本展」を彷彿させる賑わいとなっている。ツーリストもパリジャンも、パリの虜。

毎年9月、ある都市や国を招待した大イベントでシーズンを開幕するボン・マルシェ。昨年のテロによる連帯感から「パリ」をゲストに?と同社プレスに質問してみたところ、「NON!」とキッパリ、でも笑顔で返事をされてしまった。



ボン・マルシェ本館 空中ダンスホールみたい

PARIS!

このイベントのタイトルはずばり「パリ」。「全館がパリ」とボン・マルシェはその規模を強調する。実際、「パリ」という映画の中でショッピングしているような空間。百貨店の巨匠(という表現はおかしいが)、ボン・マルシェ監督が全館挙げて制作した大作『PARIS!』という(長めの)キャッチをこのイベントに掲げてあげよう(なーんて偉そうに)。

まるでパリの中につくられたパリのシネマのセットのような演出。右岸の壁にイラストを貼付けて隅角を現した、フレッド・ル・シュヴァリエの横顔キャラクターがマリオネットのようにボン・マルシェ本館の吹き抜けにぶらさがり、ワルツのように踊っている。



同展レセプションのビックサプライズ! シャンソンの女王レジーヌがステージに!!

床はパリ名物の石畳(石がプリントされたシートだけ)。1階のイベントスペースにはキオスクのような商品棚に、ポストカードからバック、テーブルウェア、「ラ・メール」(あのラグジュアリースキンケアの)など数えきれないほどの協業グッズが並ぶ。

Fred Le Chevalier

" On dansera jusqu' à ce que le monde tourne rond "

フレッド・ル・シュヴァリエ

「美しい世界が巡ってくるまで踊りましょう」

GALERIE EKO SATO

57, rue des Cascades

75020 Paris

www.ekosato.com

ジャーナリスト、そしてエッセイストとして素敵な著書をお持ちのパリ在住佐藤絵子さんが、この春、20区に開設し現代アートギャラリーで、フレッド・ル・シュヴァリエの個展が開催されている。男女がまあるくなってダンスしたりスイングしたり。美しい世界が巡ってくるまで、フレッドワールドで踊っていよう。

